

7

2019  
July

轉てん

教ぎょう

信のとびら

何度も聞く

7月のご奉公のすすめ

7月のお寺の行事予定

5月のご奉公目誌

目録上人祥月御命目法要

蓮華会鍊成会

佛立本旨講創立記念式典より

目尚上人の思い出 Part2

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

こつこつお助行させていただいて

安藤照志師

私のよこび

大難を小難に

息子家族と参詣

後続者育成活動報告

こどもたちの会

南無妙法蓮華経ってなあに？ 2



佛立本旨講妙應寺

# 何度も聞く

## 先ず最初は

どんな事を学んでも、最初からその本質や奥深さ、味わいというものがわかる訳はありません。仕事にしてもスポーツや武道にしても、諦めず苦勞を乗り越えてこつこつと身につけてゆくものです。その過程で、独自の喜びが体得できるのです。諦めてしまうと、その事の本質、奥深さはわからずに終わってしまいま

す。

## 何度も聞く

信心も同様です。何度もご法門を聴き、自らが体験して深く理解してゆくものです。ご法門を一度聴いたくらいでは仏様の説かれた本質まで理解することは難しいものです。信者さんの体験談を何度も聴く、ご法門を何度も聴く、そこに自分の体験を照らし合わせて、少しずつ信心の大切さ

が身に付いてくるのです。

開導聖人のご教歌に、

へ心には染まらずながら

たびたびに

きけばつひには

信やおくらん

とお示しです。ご法門は何度も聴くこと、日頃の体験や聞いたことと照らし合わせて少しずつ理解していくものと説かれています。

## 根気よく何度も

幼い子供が、親の注意をなかなか理解することができないのと同じで、くりかえし根気よく聴き重ねるこ

とが信心を身につける要かなめな  
のです。

たしかに、最初のご法門  
を聴聞しても体験が伴わな  
いので何を言っているのか  
分からないこともあるかも  
しれません。しかし、お講  
に参詣して他の信者の体験  
を聴いているうちに、「あ  
のご法門はこのことを言っ  
ていたのか」と、納得でき  
るものがあります。ですか  
ら、多くの人の体験談を聴  
くことも、自身の信心を強  
固なものにしてくれる大き  
な要素です。

## 教えを第一に

どんな習い事でも、分か

らないから辞めるといふ精  
神では、喜びの体験を会得えとく  
することはできません。特  
に信心では、凡夫の心を第  
一とせず、教えを第一にす  
る努力が大切ということだ  
す。

我々信者には、「信心の  
妙味を得せしめて、喜びを  
与えよう」といふ仏様の大  
慈大悲がかけられている身  
の上なのです。その御心に  
応えて、心に染まらなくて  
も教えを聴き続けることで

仏様ましと交わり、通じること  
ができるものです。そこか  
ら、喜びの境地を体験させ  
ていただけるというもので  
す。

何度も聞いて身に付けた  
ものは、簡単には我が身  
から離れないものです。身  
に災難が降りかかった時に  
も強い力を発揮してくれま  
す。繰り返し聴いて、信心  
増進につとめましょう。



# 7月のご奉公のすすめ

## 今年度の御奉公テーマ「助行」

令和初の夏期参詣を盛り上げましょう。家族や周囲の方々に  
お寺参詣する習慣が身につくま  
で、最寄りの駅で待ち合わせす

るなどして、参詣を誘い続けて  
ください。尊い菩薩行の実践と  
心得て根気強いご奉公をさせて  
頂きましょう。

## 今月の「随喜轉教」

夏休みは、外出の機会も多く、  
何時どんなことがわが身に起こ  
るか誰にも見通すことは出来ま  
せん。また夏休みは、子供達と  
の会話を増やし家族の絆を深め

るチャンスです。御法様のお陰  
や信者仲間の大切さを伝えられ  
ます。積極的に家族で祈願を掛  
け合い、信者仲間を応援祈願に  
参加させて頂きましょう。

## 来月の「ご奉公のポイント」

### 一、日晨上人法要

8月25日(日)に日晨上人祥月御  
命日法要が門祖聖人御命日総講  
に併修されます。8月11日(日)ま  
でに奉修費、御香料、参加人数、

御塔婆申し込みをして下さい。

また、8月24日(土)には準備ご奉  
公があります。皆で協力させて  
頂きましょう。なお、来年令和  
二年(2020年)は日晨上人

御三十七回忌となります。報恩  
感謝のご奉公を今から準備させ  
て頂きましょう。

### 二、くんげ会蓮華会合同御講

8月18日(日)10時半より寺内で  
奉修させて頂きます。第二部の  
レクリエーションも室内の予定  
です。8月4日までに参加申し  
込みをすすめましょう。

小学生以下を対象とした「く  
んげ会」、中学生以上を対象に  
した「蓮華会」。こうした若い  
方々のご奉公を全信徒で応援し  
て、御講参詣者増加に協力させ  
て頂きましょう。

### 第二回男性信徒交流助行に

お参詣ください。

7月28日(日)静岡・聞信寺

## 夏期参詣で暑を克服

7月1日⑩から恒例の夏期参詣が始まります。

1日は24時間ですが、体内時計は人がつくった時計のように正確ではなく、平均すると25時間で一回りするといわれています。つまり、1日に1時間ほどのずれが生じているのです。このずれを調整するのに大切なのが、朝の光です。朝の光は、人間の脳を目覚めさせ、体内時計をリセットし、1日の始まりを知らせてくれます。

夏期参詣のため、早寝早起きで生活のリズムを整える、これが熱中症予防のコツです。



# 7月の寺内予定

日 程	行	事	時刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間		
1日	月	夏期参詣開始	
		開講本旨再興祈願総講	10時半
6日	土	運営会議	9時半
7日	日	夏季総回向ご回向・塔婆・バス申込み締切	
13日	土	高祖大士御命日総講	10時半
		連合幹事会	12時半
		後続者育成連絡会	13時半
17日	水	開導聖人御命日総講	10時半
21日	日	夏季総回向法要本堂	10時
		同上（六角堂）	12時半
25日	木	門祖聖人御命日総講	10時半
		正副教区長会	12時半
28日	日	口唱会（第二地区 護法部）	9時半
		若い人の口唱会	10時半
		男性信徒交流助行（聞信寺）本堂出発8時	11時
31日	水	夏期参詣終了（御礼参詣）、夏期供養奉納締切	

# 5月のご奉公日誌

## 日歡上人祥月御命日法要が 厳修されました



5月26日(日)に奉修

されました日歡上人祥月御命日法要では、御看経のあと、昭和十年に録音された肉声による乗泉寺創建当時の御懐旧談を拝聴。その後、御導師から、次の解説をいただきました。

### 乗泉寺住職就任

明治三十四年十一月、本門佛立講東京支部が霞町親会場

から本所の清雄寺に移転されると同時に、

日歡上人は乗泉寺住職に就任されました。

### 寒参詣スタート

法華宗時代からの乗泉寺檀家のあいさつ回りを済ませてすぐの明治三十六年正月から寒参詣を開始しました。それから破竹の勢いで弘通が

発展し、十数年間で約五千軒の信者が出来たと伝えられています。

### 開導聖人の教えに

### 沿ってご奉公

開導聖人の御教えを、さらに「口唱第一」「給仕第一」に重点を置いて展開し、独自の発展をとげたのです。こうして東京に妙法口唱信行が広がってゆきました。ちょうど今から百年前の様子です。

師匠の教えを語り伝えて、それから「口唱第一」「給仕第一」の信心を伝え広め、現在までその伝統が伝わっていることを思うと、我々にはこれからも「日尚上人の開講本旨再興」の御奉公を次世代に語り伝えてゆく役目があります。その思いを新たに、開講本旨再興の報恩御奉公に精進しましう。

日歡上人御懐旧談の全文はホームページでお聴き下さい。



## 平成31年5月行事報告

1日～7日	「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」	
1日	水	開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
4日	⊕	運営会議を午前9時30分より開催
5日	⊖	蓮華会鍊成会申込締切
11日	⊕	連合幹事会を午前9時30分より開催
		後続者育成連絡会を午前10時30分より開催
12日	⊖	日歎上人祥月御香料・塔婆・参詣人数申込締切
13日	月	高祖大士御命日総講を午前10時30分より奉修
17日	金	開導聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
19日	⊖	蓮華会鍊成会を開催（船橋アンデルセン公園）
		開講本旨再興祈願口唱会を午前9時30分より奉修 （担当：第三地区・管理部）
25日	⊕	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
		正副教区長会を午後12時30分より開催
		日歎上人祥月御命日法要準備ご奉公を午後13時30分より開催
26日	⊖	日歎上人祥月御命日法要を午前10時30分より奉修

# 日尚上人の思い出

## Part 2

4月20日(日)に開催されました佛立本旨講創立記念式典。各地区、特別教区から参加されたみなさんからいただいた日尚上人の思い出話の続編です。

### 大阪教区

Kさん

今から約25年前、東京から岡山県に転勤となり、岡山に住まいを探し

に行った際、日尚上人がお教化されたMさんへのお助行を頼まれました。当時はインターネットで住宅を見つけることも出

来ない時代でした。現地の良い不動産屋を如何に見つけるかにかかってい

ました。日尚上人のお使いは住宅が決まってからやろう

と思います、2泊3日で探してみました。最初の2日間

で納得できる住宅が見つかりませんでした。最終日に飛び込みで入った不動産屋にて、東京へ戻る飛行機の3時間前に住宅が決まりました

た。

なお、その住宅はお使いのお助行中に家主からFAXで依頼があり、家賃も不動産屋と家主がこれから決めるところでした。結局、日尚上人のお

使いを優先しなさいと現証で教えられました。

引越のご挨拶の時、日尚上人がニコニコ笑いながら、「良かった」と言われ

ました。もう約25年経ちますが、乗泉寺通信平成七年二月号、宗風見聞の「現証布教」の御導師の言葉を信じて、川越の実在寺から移って「良かった」と思いました。

### かながわ南教区

Nさん

私は乗泉寺の頃に、甲の御講の御導師お迎えのご奉公をさせて頂きました。

まず出発30分前に庫裡に入り、奥様が出して下さったお茶をいただき、時間になると家族一同でお見送りをされるときに、まだ、小さかった随歡師が「おじいちゃん行つてらっしゃい、バイバイ」とお見送りされて出発しました。

車の中では、私が勤めている会社の状態を心配して下さり、いろいろアドバイスを頂き、大変あ





# 佛立本旨講創立記念式典



りがたかったです。

## かながわ北教区

〇さん

父、Yが、定年後よくご奉公され、日尚上人が副導師の時に、常に随行して連合内のお助行に回られたと母から聞きました。

また、私が目黒のマン

シヨンに住んでいたこの時に、日尚上人が直接  
ろ、甲御講をお受けし、「お父さんを泣かせない  
日尚上人にお出ましいたように」とお言葉を頂き、  
だき、50人ほどのお参詣「はて・・・？」と思  
者がありませんでした。ましたが、後で考えます  
御講終了後、お見送りと、そのころ、教区内で  
いろいろ混乱があり、御導師はそれを心配されて声をかけてくださったのかなと、大変ありがたい思いでした。

北関東に弘通隆昌発展の現証が

## 栃木・水戸合同特別御講が奉修されました

これまで栃木教区、水戸教区が別々に年一回おこなっていた特別御講は、合同で年二回行つて  
これまで栃木教区、水戸教区が別々に年一回おこなっていた特別御講は、合同で年二回行つて  
この地域でのご弘通ご奉公が進んでいることを物語っております。

5月19日に、今年度最

御看経後の懇談では、

初の合同御講が栃木教区Kさんのお宅で行われました。28名の御参詣があり、次世代のKさんのお

家族に信心を勧めた話、親から信心を勧められた経験談が語られました。



# こつこつお助行させて頂いて

安藤照志師



26歳の頃、今までご奉公させて頂いていた東京から、仕事の縁で神奈川県に家を持ち夫婦でご奉公させて頂く事になりました。

## 新天地で信者仲間を探す

その当時、都心にはご信者が沢山いましたが、はたして近くに信者宅があるのかどうかわかりませんでした。まず初めにお助行しなければいけないと思っていました。すると近くに信者宅がある事が分かり早速お助行に伺いました。そこで、どうやって若い夫婦家族をお参りやその他、遊ぶことなど通じて増や

していけるかなど、話をすると事が出来、実行に移して行く事になりました。

他にも、若い家族がいるか調べているうちに、次のお宅が見つかり早速お助行に行く事になりました。そこでも話は進み、三所帯での将引助行ご奉公が始まったのです。

## 新生クラブの誕生

将引助行を続けるうちに、次々と信者宅が見つかり次世代信者の輪が広がっていきましました。教務さんから「新生クラブ」と名前を頂けるほど大きくなり、また更なるお助行のご奉公が始まりました。

季節が来れば、小さい子どもたちを誘って、いも堀りや、畑の中で豚汁や焼きそば、川遊びに行くのも楽しみでした。また一方では欠かさず、毎月一回、夜に勉強会を開き、どうしたらこのご信心で利益が頂けるのかと真剣に話をしていた姿が思い出されます。その頃の育成の思いは若い家族・子どもの将来像を描き、お助行に力を入れてきた思いがあります。

早いもので、その当時の小さかった子どもたちが現在では、子を持つ親になっています。

## 後継者育成 お助行よい

かながわ南教区 Sさん  
「娘家族といっしょに」

Sさんは、皆さんもご存じの通り毎朝お寺参詣をし、弘通部のご奉公をされております。

信行相続は、直子さんのご主人が亡くなられて、娘さん一家がご実家に同居したいと言ってきたときに、直子さんは、ご信心第一に、御宝前中心にさせてもらう条件で一緒に住むことになりました。

娘さんは、今はよくお盛物を買ってきて下さいます。孫のK君は四月より高校生になり元気に通学しています。受験の時はK君も娘さんも御祈願を書いてお願いをしまし



新たに「ご本尊を奉安されたMさん」

た。  
結果、自分の希望する学校へ合格することができまし

た。今は毎月高校生生活充実の御祈願と御祈願を書いているそうです。

広島教区のAさん（写真後列右二人目）が、愛媛県伯方島にお住いのMさん（写真左）親子を新教化されました。Mさんと、Aさんは職場が同じで、Mさんの相談にAさんが解決策としての信心を勧めた結果お教化となりました。

Mさんは、「お給仕、お看経に励まさせていただきます」と5月18日に奉安された際に、水谷随歓師に力強くお応え頂きました。

# 私のよろこび



## 大難を小難に

昨年の四月、脳梗塞になつてしまいました。書く字が乱れるので、変だなと思いました。

以前、主人が脳梗塞になつた時のことを思い出し、同じような症状なので、直ぐに病院に行きMRIをうけたところ脳梗塞と診断をされました。

偶然にも次男博昭が休みであつたので、病院に同行してくれました。発見が早かつたので、後遺症もほとんどなく大難が小難のお計らいを頂きました。

本日もこうして無事に甲御講を奉修させて頂くことが出来ました。今後はこのご信心

多摩教区 Sさん

の喜びを家族に伝える随喜轉教に励みたいと思います。

## 息子家族と参詣

目黒教区 Oさん

今月二十日、日尚上人御十七回忌に息子家族を将引しました。

その時は仕事の都合でお寺の参詣は無理だけど、午後のセレモニーは行けるといふので三人追加の申し込みをしました。毎日御法様に息子たちが出席できます様にとお願いしてきました。

四月の始めに息子から電話



がきました。休みがとれたのでお寺にお参詣できるよ。とてもうれしい知らせでした。久しぶりに息子家族に逢える。それもお寺で。御法様にお計らいを頂きました。

これからも子供たちの育成に心がけて、信行相続のご奉公に精進します。



# フレッシュな風が吹いた

## 蓮華会錬成会に千葉

年に一度の錬成会、今年は千葉県にある「ふなばしアンデルセン公園」に行き、アスレチックで遊びました。

スタート入口に立った時、これはまた本格的な…とひるんでいると、何と小さい子供達が次々に丸太に登り、縄を伝い、グングン挑んでいくではありませんか！勿論、蓮華会の子供達もガンガン進んでいきます。スゴイ！しかし、行く先には高所を渡って進む工程が潜んでいます。小さな子がちよっぴりピンチになる場面が出てきます。

すると、ここで今回、多数

集まってくれた青年男子の蓮華会さん達がみんな、サツとフォローの手を差し伸べてくれました。ロープの上から、丸太の下から、楽しみながらもそっと見守っていてくれたのです。

今回参加された若い蓮華会さん達、錬成会には初めての方もいらっしやいましたが、ほぼ同世代ということもあり、和気あいあいでした。蓮華会にフレッシュな風が吹くの感じました。若い人達の輪がこうして広がって、蓮華会はこれからはますます盛り上がっていく予感です！



# ★こどもたちの会★

## なむひょうほうれんげきょう 「南〇経ってなあに?」

 <p>⑥ 受<sup>じゆ</sup>験<sup>けん</sup>や就<sup>しゆ</sup>職<sup>じつ</sup>で も、最<sup>さい</sup>善<sup>ぜん</sup>の道<sup>みち</sup>を 選<sup>えら</sup>んで頂<sup>いただ</sup>けるのよ。</p>	 <p>南〇~経<sup>けい</sup>!</p> <p>おばあちゃんはいつも御<sup>ご</sup>室<sup>しつ</sup>前<sup>まへ</sup>で拝<sup>はい</sup>んでい るけど、どうして??</p>
<p>あなた<sup>あなた</sup>達が無<sup>む</sup>事<sup>じ</sup>に育<sup>そだ</sup>つて、 他人<sup>たにん</sup>の幸<sup>さい</sup>せを願<sup>ねが</sup>える人<sup>ひと</sup>に な<sup>な</sup>って下<sup>くだ</sup>さいって願<sup>ねが</sup>ひしてい るのよ。</p> <p>じゃあおばあ<sup>おばあ</sup>ちゃん は、いつも何<sup>なに</sup>を願<sup>ねが</sup>ひして いるの?</p>	<p>それはね、拝<sup>はい</sup>むと仏<sup>ぶつ</sup>様<sup>さま</sup>の お智<sup>ち</sup>慧<sup>えい</sup>を頂<sup>いただ</sup>けるからよ!</p> <p>お智<sup>ち</sup>慧<sup>えい</sup>が頂<sup>いただ</sup>ける て、どうい<sup>い</sup>う事<sup>こと</sup>??</p>
<p>そうね! 犬<sup>いぬ</sup>き<sup>き</sup>な声<sup>こゑ</sup>で お唱<sup>とな</sup>えて欲<sup>ほ</sup>しいわ!</p> <p>じゃあ私<sup>わたし</sup>も御<sup>ご</sup>室<sup>しつ</sup> 前<sup>まへ</sup>に座<sup>ま</sup>つて、お唱<sup>とな</sup>え しなくちゃね!!</p>	<p>そのお陰<sup>かげ</sup>で仏<sup>ぶつ</sup>様<sup>さま</sup>に な<sup>な</sup>られたのよ!</p> <p>助<sup>す</sup>け<sup>け</sup>る昔<sup>むかし</sup>の佛<sup>ぶつ</sup>薩<sup>さつ</sup>行<sup>ぎやう</sup>を してね</p>
<p>大丈夫<sup>だいじゆう</sup>よ! 願<sup>ねが</sup>ひしてお唱<sup>とな</sup>え すれば、心<sup>こゝろ</sup>配<sup>はい</sup>事<sup>じ</sup>も解<sup>と</sup>決<sup>けつ</sup>するわ!</p> <p>そういえば、<sup>こ</sup>学<sup>がく</sup>校<sup>こう</sup>の友<sup>とも</sup>達<sup>たち</sup>の 事<sup>こと</sup>で心<sup>こゝろ</sup>配<sup>はい</sup>な事<sup>こと</sup> が有<sup>あ</sup>るんだ...</p>	<p>南〇~経<sup>けい</sup>!</p> <p>ひと智<sup>ち</sup>慧<sup>えい</sup>の全<sup>ぜん</sup>てが ④ その経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>と喜<sup>よろこ</sup>ぶ</p>
<p>はじめは御<sup>ご</sup>本<sup>ほん</sup>尊<sup>そん</sup>を しっか<sup>し</sup>り見<sup>み</sup>つめて、お題<sup>だい</sup>目<sup>め</sup> をお唱<sup>とな</sup>えてみて!!</p> <p>よ~し!! 頑<sup>がん</sup>張<sup>ぱう</sup>ってみるネ!!</p>	<p>私<sup>わたし</sup>たちの心<sup>こゝろ</sup>の奥<sup>おく</sup>にも備<sup>そな</sup>わ つてい<sup>い</sup>る南〇~経<sup>けい</sup>と、口<sup>くち</sup>に唱<sup>とな</sup>える 南〇~経<sup>けい</sup>とが合<sup>あ</sup>わされて、自<sup>おの</sup>ら の苦<sup>くるしみ</sup>しみを乗<sup>の</sup>り越<sup>こ</sup>えら れるのよ!</p> <p>それで おばあちゃん は唱<sup>とな</sup>えてい るんだネ!</p>

「席主ご奉公ができる方が2席増えて、いままで顔を見なかったような方も御参詣されていました。さらに、横須賀から六角堂に改葬された方もいて、隆昌発展という言葉を身をもって感得いたしました」

(栃木・水戸教区特別御講にお参詣した山本局長)



## 轉教

令和元年7月1日発行 第20巻第7号 通算233号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人